

# 絶縁油中の微量PCB濃度分析

年間1万検体以上を分析する豊富な実績と経験



「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」によりPCB廃棄物は2026年度末までの処理が義務付けられています。

PCB含有が不明な油入機器の廃棄はPCB有無の判別が必要なため、絶縁油中のPCB濃度の測定を行う必要があります。

当社は、年間1万検体以上のPCB濃度分析を行っています。



## PCB濃度分析の重要性

▶ 当該廃棄物の絶縁油に含まれるPCBの濃度が**0.5mg/kg以下**の場合、PCB特措法で定められた**PCB廃棄物に該当しません**。

## ▶ 当社の測定方法

分析法	報告下限	備考
迅速判定法 (GC/NICI-MS法)	0.3mg/kg	絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(第3版) 3.2.1 ヘキサン希釈/ガスクロマトグラフ/負イオン化学イオン化質量分析計(GC/NICI-MS)法
簡易定量法 (GC/NICI-MS法)	0.15mg/kg	絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(第3版) 2.5.1 スルホキシドカートリッジ/ガスクロマトグラフ/負イオン化学イオン化質量分析計(GC/NICI-MS)法
公定法 (高分解能GC-MS法)	0.05mg/kg	厚生省告示第192号 (改正平成10年同第222号)

### ①迅速判定法

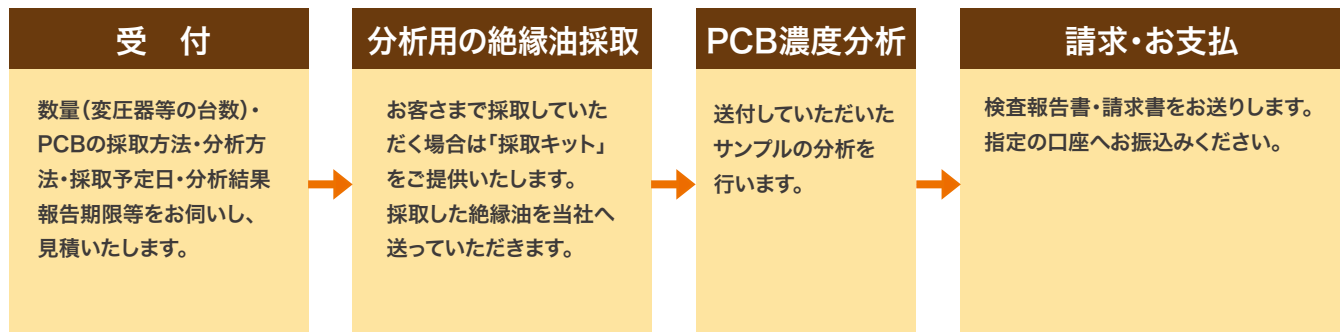
PCBを含有(0.3mg/kg以上)するか否か(0.3mg/kg未満)の判定をします。(数値は参考扱い)  
PCB濃度がグレーゾーン(0.3~0.7mg/kg)のものは、簡易定量法による測定を行い、PCB濃度の値を確定します。

### ②簡易定量法

PCB濃度を確定する方法です。PCB濃度が0.5mg/kg以下はPCB廃棄物には該当しません。

『迅速判定法(GC/NICI-MS法)』での測定を推奨いたします。

## ▶ PCB分析業務の流れ



## ▶ 絶縁油サンプル採取キット

(1サンプルに1組必要、当社より無料でご提供します)



## ▶ 分析・判定の流れ

